

会議名	令和5年度 第2回宇都宮市文化財保護審議委員会
開催日時・開催場所	令和6年1月9日(火) 午後3時30分～午後5時00分 宇都宮市役所13階 教育委員室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「伝法寺 木造薬師如来坐像」の宇都宮市指定文化財の指定に係る諮問について ・宇都宮市文化財保存活用地域計画について (2) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の主な文化財関係事業報告について 3 その他 4 閉 会
出席者氏名	大嶽浩良委員長, 梁木誠副委員長, 大澤慶子委員, 本田諭委員, 高山慶子委員, 林光武委員, 小川聖委員, 大嶽陽徳委員
公開・非公開の別	公開
傍聴者の数 (公開した会議に限る。)	0名

2 議事

(1) 審議事項

・「伝法寺 木造薬師如来坐像」の宇都宮市指定文化財の指定に係る諮問について

○事務局による説明

○本田委員：諮問理由に、首、顔は後補であると記載してあるが、現在の見解であり、今後の調査で変わる可能性がある。仮に後補であっても価値は変わらない。

○高山委員：前回指定になった伝法寺 木造釈迦三尊像も金泥が塗布されていたが、今回の物件も同じ時期に塗布されたものなのか。

⇒大澤委員：前回指定の木造釈迦三尊像は昭和58年頃に修理されたものであり、今回の木造薬師如来坐像も同時期とは考えられるが、今後の調査で明らかになると思われる。

○梁木委員：寺の管理状況については、事務局では把握しているのか。

⇒事務局：現在は住職が常駐している。伝法寺は定期的に住職が変わるため、交代する際は適切に指定文化財に関する引継ぎが行われるよう注視していきたい。

・宇都宮市文化財保存活用地域計画について

○事務局による説明

○高山委員：P8の庁内体制について、文化課は来年度から市長部局へ移行することから、引き続き適切に連携体制が取れるようにして欲しい。P9事業名「歴史資料等の体系的整理の推進」の具体例を教えて欲しい。P10事業名「被災文化財レスキュー事業」の具体例を教えて欲しい。P12事業名「製糸工場「大嶋商舎」の周知啓発」について、現在工場が残っていない中どのような周知を考えているのか伺いたい。

⇒事務局：P9の事業名「歴史資料等の体系的整理の推進」については、具体的な取組については、今後決めていく。P10事業名「被災文化財レスキュー事業」については、とちぎ歴史資料ネットワークなどと連携することを想定しているが、具体的な取組については今後決めていく。P12事業名「製糸工場「大嶋商舎」の周知啓発」については、知らない宇都宮市民も多いため、皆様に助言を頂きつつ今後決めていく。

○大嶽委員長：P10「歴史文化資源のデジタルアーカイブ化の製作」について、宇都宮市には古文書が約10万点あると言われており、実際取り組もうとすると相当な労力を要する。本当にできるのか。

⇒事務局：大変な作業であることは認識している。事業計画期間も継続し取り組む事項として仕分けしており、目録の作成など、取り組めるところから少しずつ行っていく。また、新規に見つかった古文書については、適切に保存・管理を行っている。

⇒高山委員：個人での保管が難しい古文書については、本来であれば市立博物館が受け皿になるが、宇都宮市にはないため、今後の見通しなども計画に盛り込められれば良いと思う。

○林委員：P 9 事業名「天然記念物の樹勢回復・保護増殖事業」について、市の他部局や、公益財団法人グリーントラストうつのみやなどの機関とも連携して取り組めるよう計画を作って欲しい。

○大澤委員：P 9 事業名「寄附資料の受入」について、市立博物館がない宇都宮市だと難しいと思うがどのように考えているか。

⇒事務局：博物館をすぐに建設することは難しいが、古文書については上河内民俗資料館が受け皿になっており、現在の環境でも受け入れられるものは受けている。今後はデジタル化を活用した保存管理なども検討しつつ計画を策定していきたいと考えている。

○本田委員：自然系の事業が少ないように思われるため、計画策定の際に考慮して欲しい。また、古文書の調査を行う際は、市内全ての寺院などを調査し、漏れが無いように進めて欲しい。

(2) 報告事項

・令和5年度の主な文化財関係事業報告について

○事務局による説明

⇒意見なし

3 その他

・令和6年度の機構改革について

○事務局による説明

⇒意見なし

その他の事項